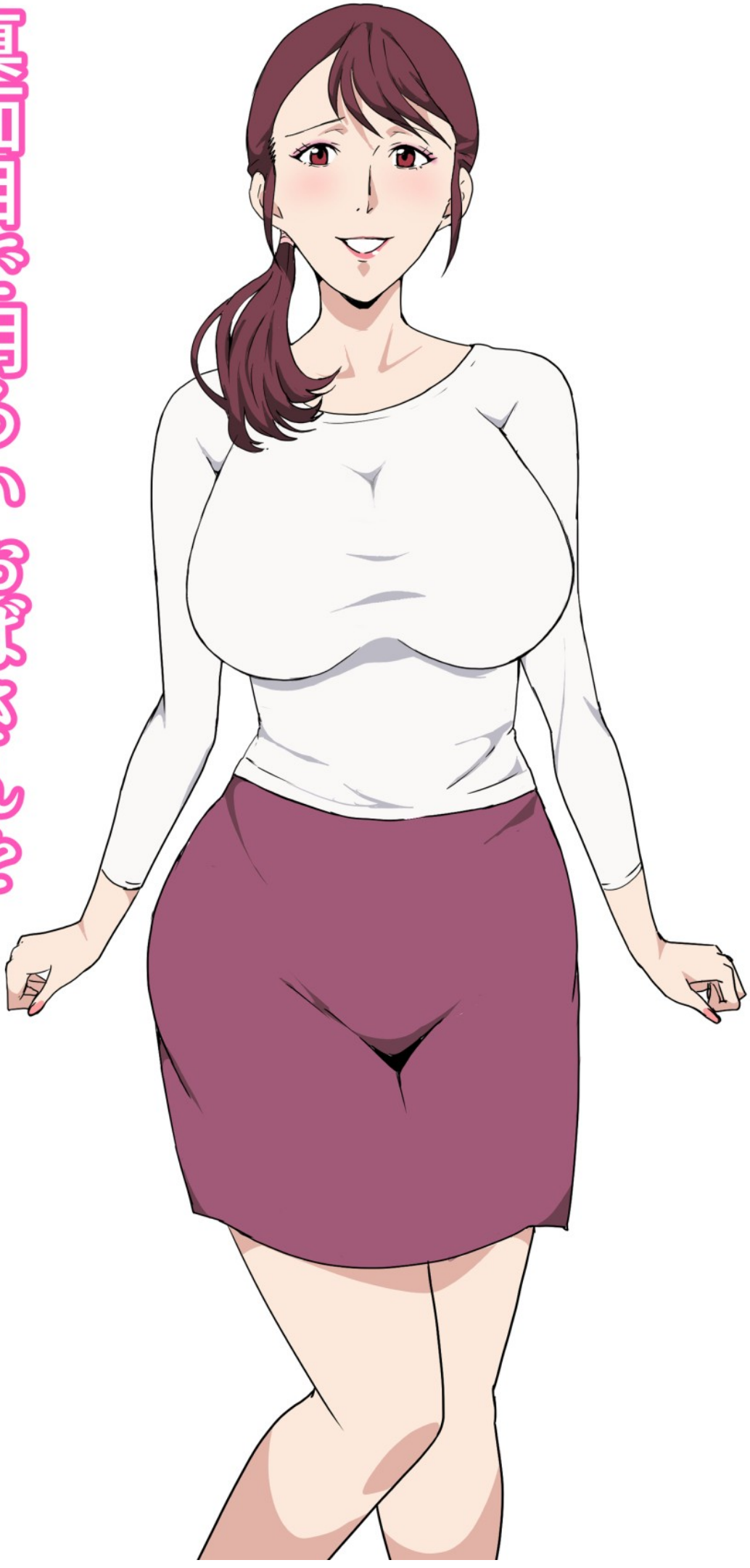
真面目で明るいおばさんをセックスで言いなりにした話



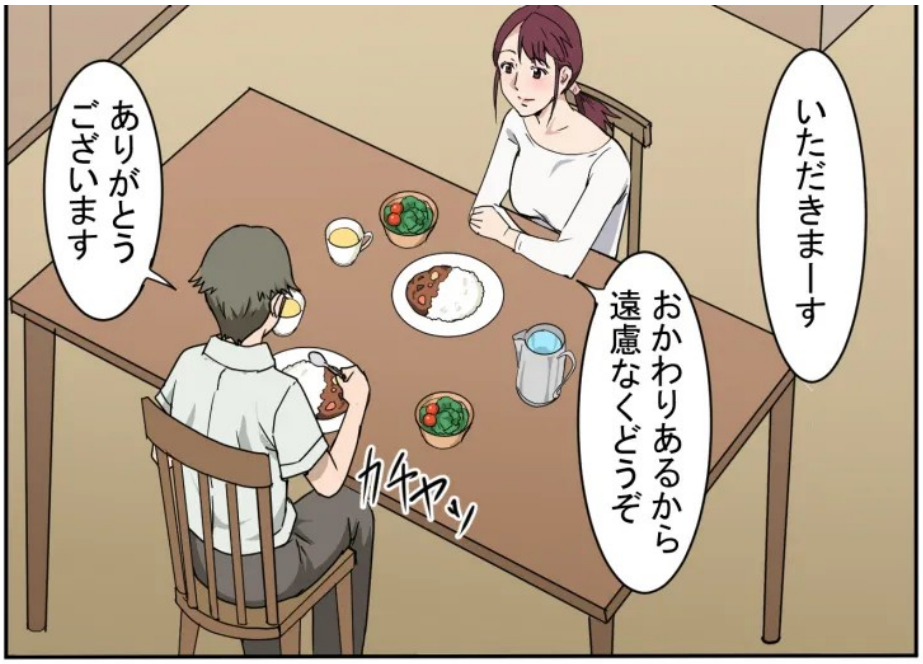

着いたわよ
ありがとうございます
ガチャッ
キキッ
タッ
信一クンとは何年ぶりかな？
5年ですかね
そうなんだ・・大きくなったわね
ハイ
彼女の名前は桜井京子・・・・・
母の妹で国語の教師をしている


お・おじゃまします
どうぞ


俺は大学の近くのこのおばさんの家に居候することになった
なんでもおじさんは今長期出張中で男手が欲しかったらしい・・・
フリ
フリ


お昼カレーでもいいかしら？
あ・ハイ


信一クンが来てくれて心強いわ・・・
最近は色々と物騒だから女一人だと心配なのよ
は・はい
ドキッ
チキ
パキ
ムニュッ

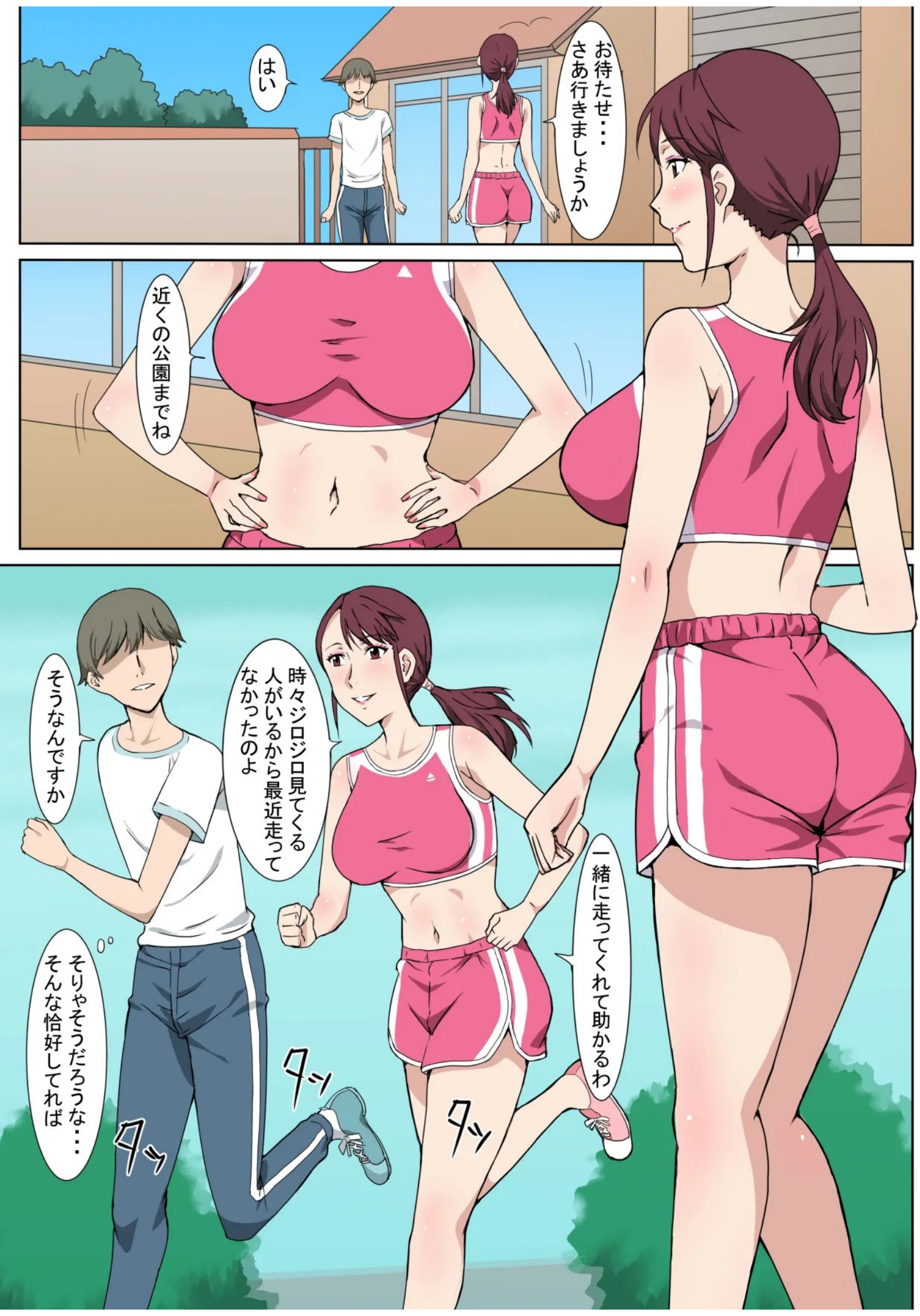

いただきまーす
おかわりあるから遠慮なくどうぞ
ありがとうございます
カチャン


さあ出来たわよ

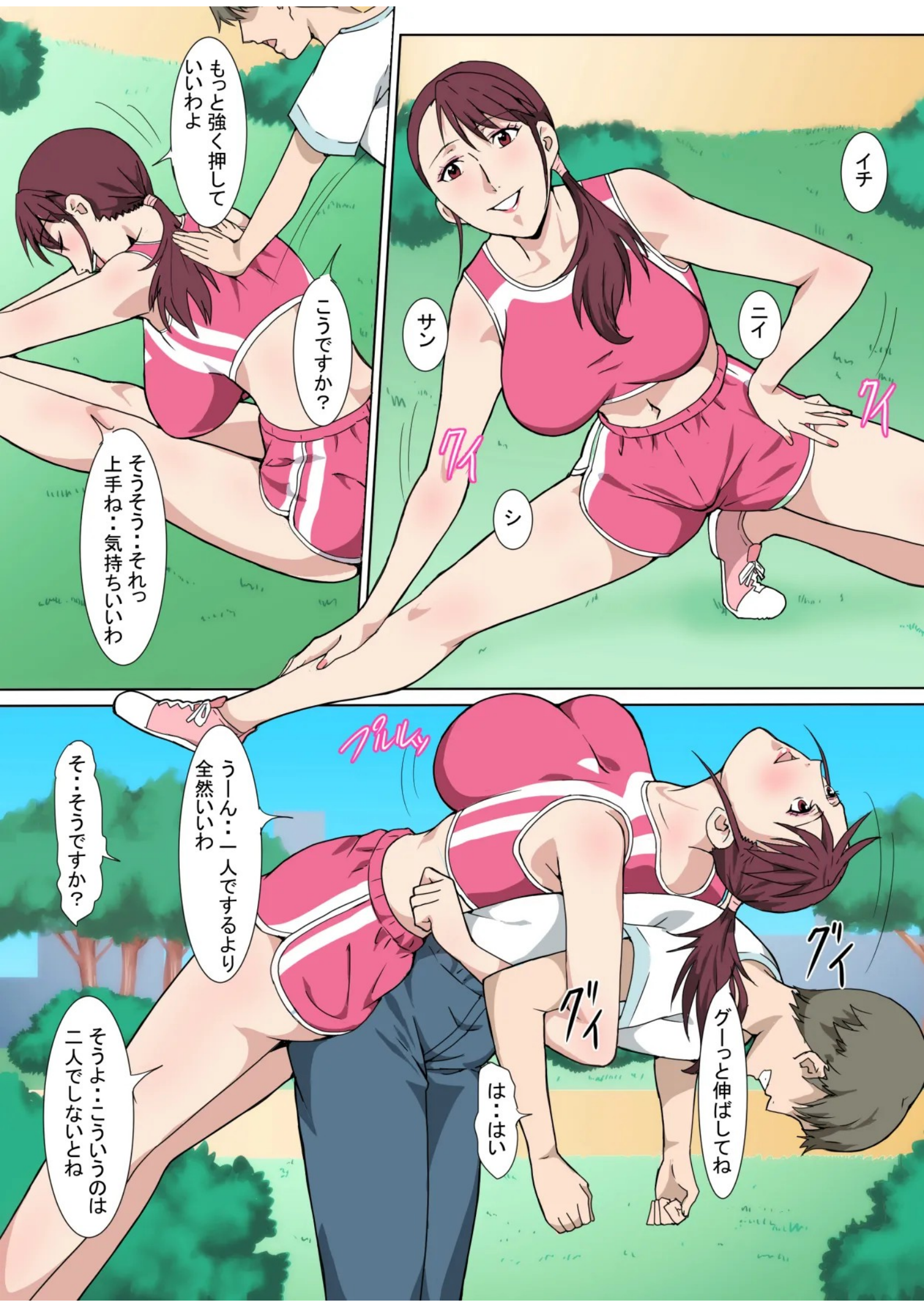

おばさんとは大違いですよ
あはははっ・・・姉さんらしいわ


姉は元気にしてる？
ええ・・それはもううるさくて困ってます


着いて早々なんだけど食べたらジョギング付き合ってくれない？
あっ・・そうだ
いいですよ丁度いい腹ごなしになりますから
ありがとう


お待たせ・・・
さあ行きましょうか
はい
近くの公園までね
一緒に走ってくれて助かるわ
時々ジロジロ見てくる
人がいるから最近走って
なかったのよ
そうなんですか
そりゃそうだろうな・・・
そんな恰好してれば
タッ
タッ
タッ

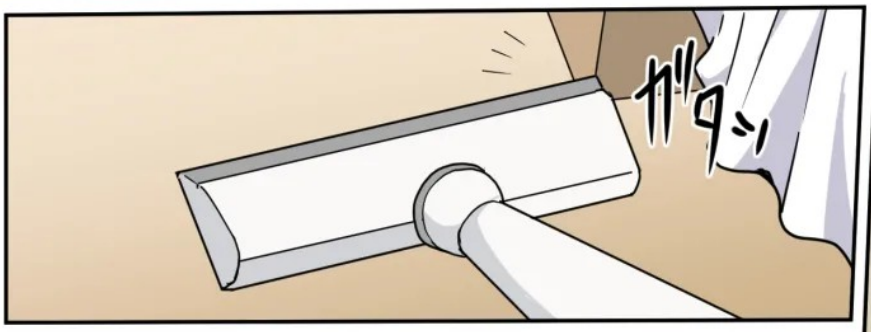

しっかりついて来てよ
ほら・・公園までちょっとペースアップするわよ
あっ・・待ってくださいよ
アセッ
ゼエ
はあ
はあ
ゼエ
はあ
ガクッ
はあ
はあ
うーん・・やっぱり走るの気持ちいいわ
ゴール・・
は・・はい
ねえ・信一クンストレッチしよっか


イチ
ニイ
サン
シ
グイ
グイ
もっと強く押していいわよ
こうですか？
そうそう・・それっ上手ね・・気持ちいいわ
プルッ
グーっと伸ばしてね
グイ
グイ
は・・はい
うーん・・一人でするより全然いいわ
そ・・そうですか？
そうよ・・こういうのは二人でしないとね


ホラ・・今度は信一クンのやったげるわね
きゅう
きゅう
あっ・・いや僕はいいですよ
ナニ言ってるのよ気持ちいいんだから
プシー
あっ・・・ちょっと
それそれっ・・・もっといけるでしょ？
い・・いや・・これ以上はイテテ・・・
ダメよ・・逃がさないんだからー
ほーらっ
グッグッ
あ・・いや・・京子さんホントにちょっと
なによ・・頑張りなさい
あらら・・・
う・・うーんもうダメ
これくらいでもうダメなの？
ちょっと早すぎるわね
若いんだからもっと頑張ってよ
ドクン
ス・スミマセン


フン♪
フン♪
はあぁーっ
ジョギングの後の
シャワーはやっぱり最高っ
カタッ
サイアアアアアア…
信一クン？
もう出るから
ちょっと待っててね
？
あっ・ハイ
お構いなくぅ
ううううっ
ヤベっ
勃ってきた




ガタン


ブイイイ～ン


あらっ・・・
何かしら？
ハッ


コレは・・・
Hなdvd
ゴソッ


はい？
ちょっと信一クンっ
ぱっ

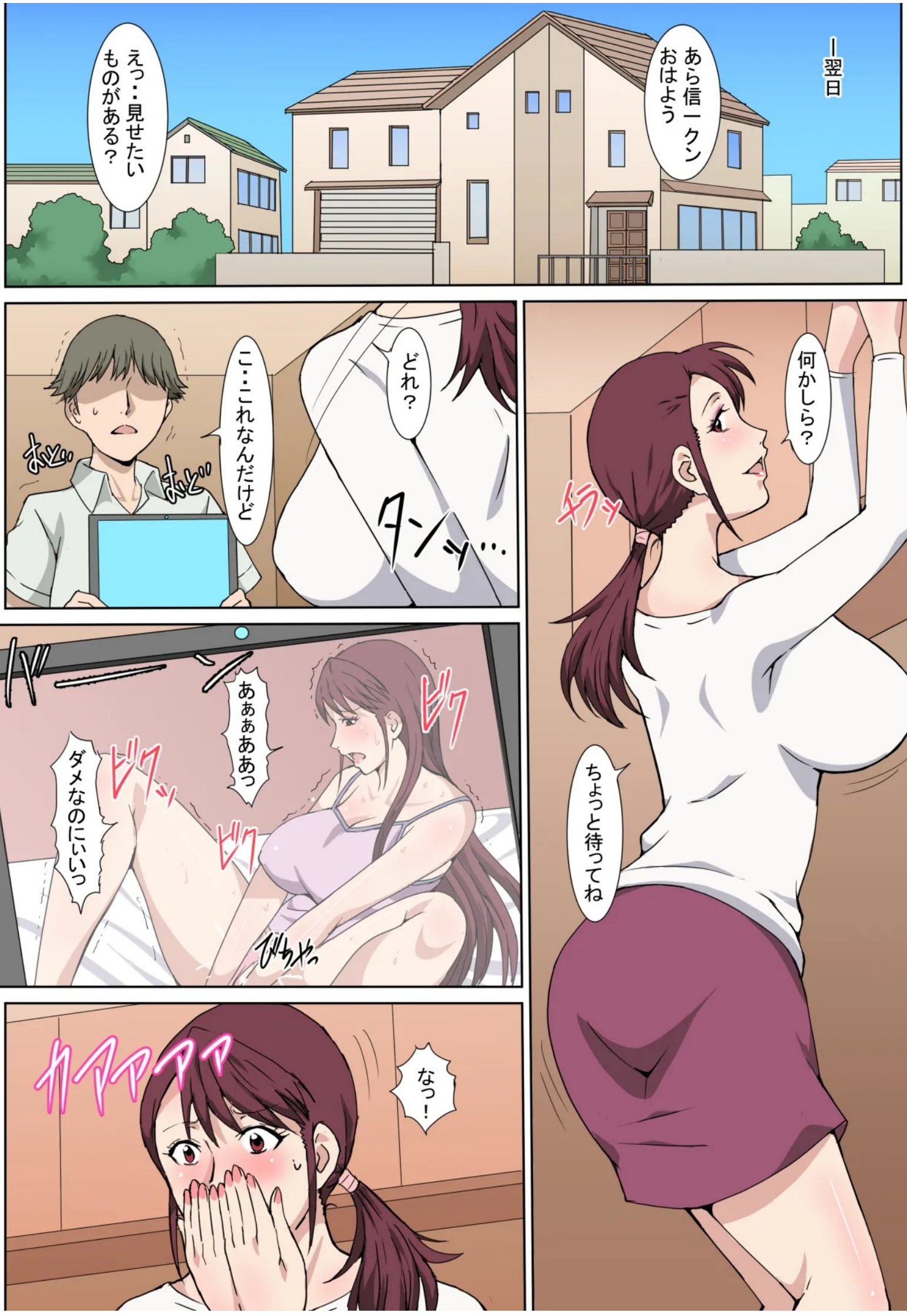

ちょっと来なさい！
ドキッ
なっ・・何ですか？
いいから早くっ


そこへ座りなさい
は・はいっ
ダメでしょ・・こんなの持ち込んじゃ！
え・でも
Hなのは良くないのよもう大学生なんだからこんなの見てちゃ
えっ・・・
男だからしょうがないとか言い訳は聞きませんからね
ウチではこういうの禁止です
いいわね
・・はい
カレーン
そんな・・あんな誘うようなことしてなんで？
それ無かったら身が持たないよ
ガサッ…
これは送り返しますから


―夜
おばさん自身におかずになってもらうしかない！
こうなったら
グッ
クッソー
バタン!!
ワナ
ワナ
うーん…
ギシッ…
どうしたのかしら？
パチッ
眠れないわ…
…まさか
昼間あんなの見ちゃったから？
ムクッ…
カタッ


またあの娘が出てきちゃう…
ちょっとだけ…
ドキ
ドキ
ドキ
ギシッ
ちょっとだけ好きにさせてあげる…
ムニっ…
…んっ
くぅ
すちゅっ
もう…
ホントにいやらしい子
はぁ♡
はぁ♡
ああああああっ
ダメよそんなにしたらあぁ
ブル
ブル
ブル
レロン
しゅぴっ
ぴちゃっ
レろちゅっ
トロッ


あふあああああっ
ビクビクッ
ダメなのにいいい
イクっ
いっちゃうぅぅぅぅっ
もう・・・
なんで出てきちゃうの？
Hなのはダメなのに
はあ
はあ
はあ
ガク
ガク
ガク
ガク
ビクビクッ
キィッ
おふっ
これは・・・

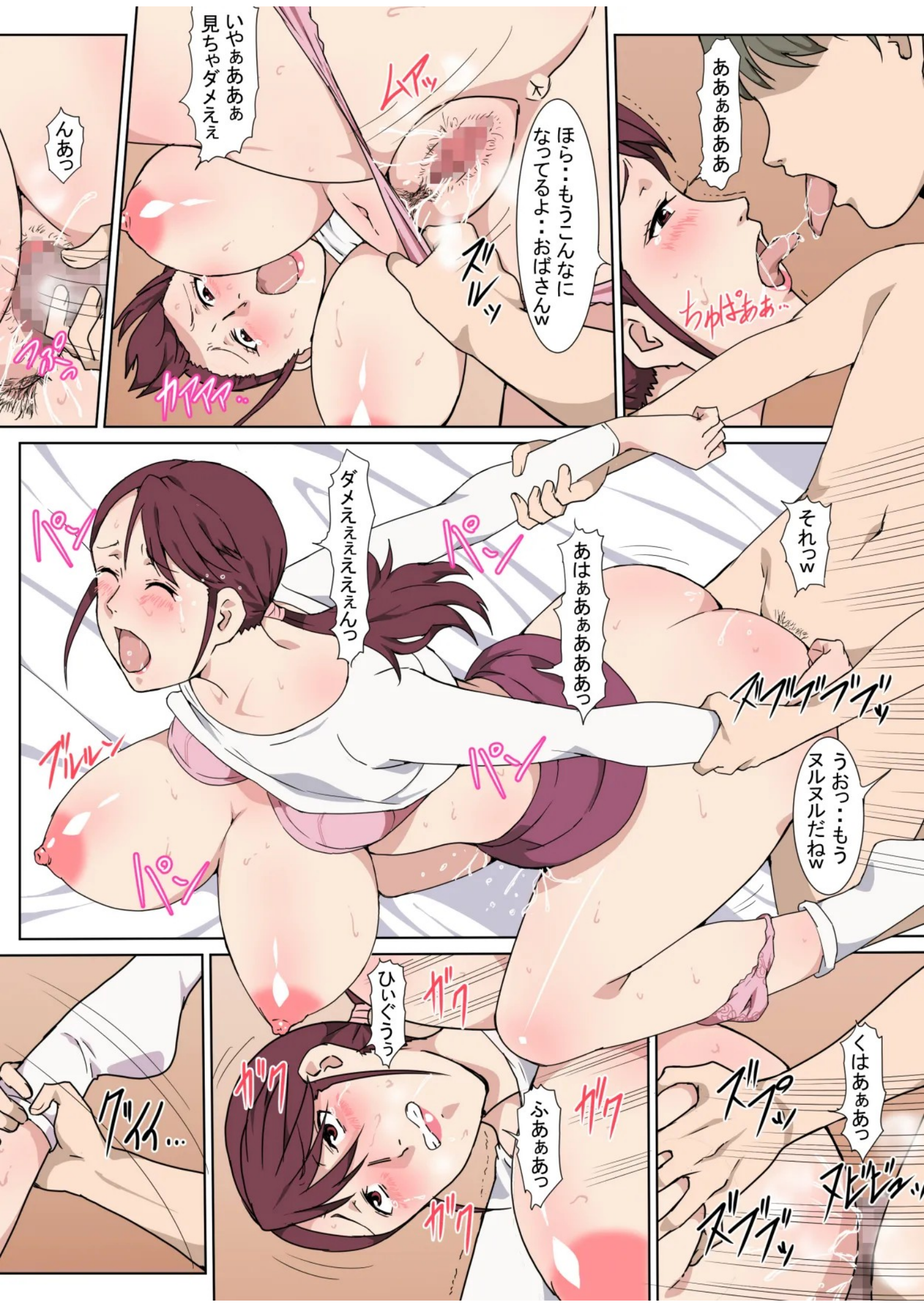

―翌日
あら信一クン
おはよう
えっ・見せたい
ものがある？
何かしら？
ちょっと待ってね
ムラッ
どれ？
こ・これなんだけど
まど
まど
タンッ…
あぁぁあぁっ
ダメなのにいいっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
なっ！
カアアアア


な・・なによそれ・・・
なんでそんなのが・・・・・・
アセッ
オナニーの時鏡使う派なんですね
スッ・・・
おばさんw
それって興奮するんですか？
オロ
オロ
あああああ・・鏡はダメよ
Hなのはダメなんじゃなかったんですか？
ガクッ
あああ・あああああぁ・・・
・・・そ・それは
ペタン
違うのよっ
それはわたしじゃないわっ
バッ!!
どういうことですか？
・・・えっ
それは・・・


わたしがまだ学生の頃・・・
両親も教師で厳しく育てられたの
姉さんが就職して家を出てそれはさらに酷くなった・・・
だから当然Hなことも禁止だった
そういう気持ちをどうしていいか知らなかったのよ
そしたらあの娘が現れた
ソコッ
鏡の中にHな京子が・・・
彼女はわたしの身体を好きにしたの
すりっ
あっ・・・
スッ
ああぁあっ
もきゅっ
彼女が現れるとわたしは彼女が満足するまで何も出来ない
そして彼女が行ってしまうまで我慢するしかないのよ・・・
ぴちゅっ


だからあれは
わたしじゃない
……
厳しい家って
ヤベーな…
しかしこれは上手く
すれば…
じゃああれは
おばさんじゃ
ないんだね
そうなのよ！
わかるでしょ
それなら俺がHな京子を
懲らしめてやりますよ
えっ…どういうこと？
もう出てこれないくらい
コテンパンにねw
―寝室
さあおばさん
寝て
え…でも
ホラ早くっ
ちょっと…
どうしてわたしが
いいから


きゃっ！ダメよ
そんなことしたらあぁあっ
んあああああっ
またおかしくなっちゃうっ
だからですよ
Hな京子を
やっつけないと
思い切り満足させれば
二度と出てきませんよw
ホントに…？
そ…そんなことが
おばさんもしかして
出てきて欲しいの？
ちっ…違うわよ
何言って…
じゃあ決まり
んんんんんんんっ


ああぁあああ
ちゅぱぁぁ…
ほら・・もうこんなになってるよ・おばさんw
ムアッ
ズルッ
いやぁあああぁ見ちゃダメえぇ
カアアア…
んあっ
ヌポッ
それっw
あはぁあぁあああっ
ダメえぇえええぇんっ
パン
パン
パン
パン
ブルン
ズブブブブッ
うおっ・・もうヌルヌルだねw
くはあぁあっ
ズプッ
ズブブッ
ヌビビッ
ひいぐうぅ
ガク
ガク
ガク
ふあぁあっ
グイイ…


ほらほらっ
いっぱい感じて
いいよおばさん！
マジイキしないと
満足できないでしょ
ああぁあああ
あぁあああぁあんっ
おっ・・きゅんきゅんに
マンコ締まってやっぱ
気持ちいいんだw
そ・・そんなこと
・・・あっ！
ビクッッ
ビクビクッ
ズブッ
ズブブッ

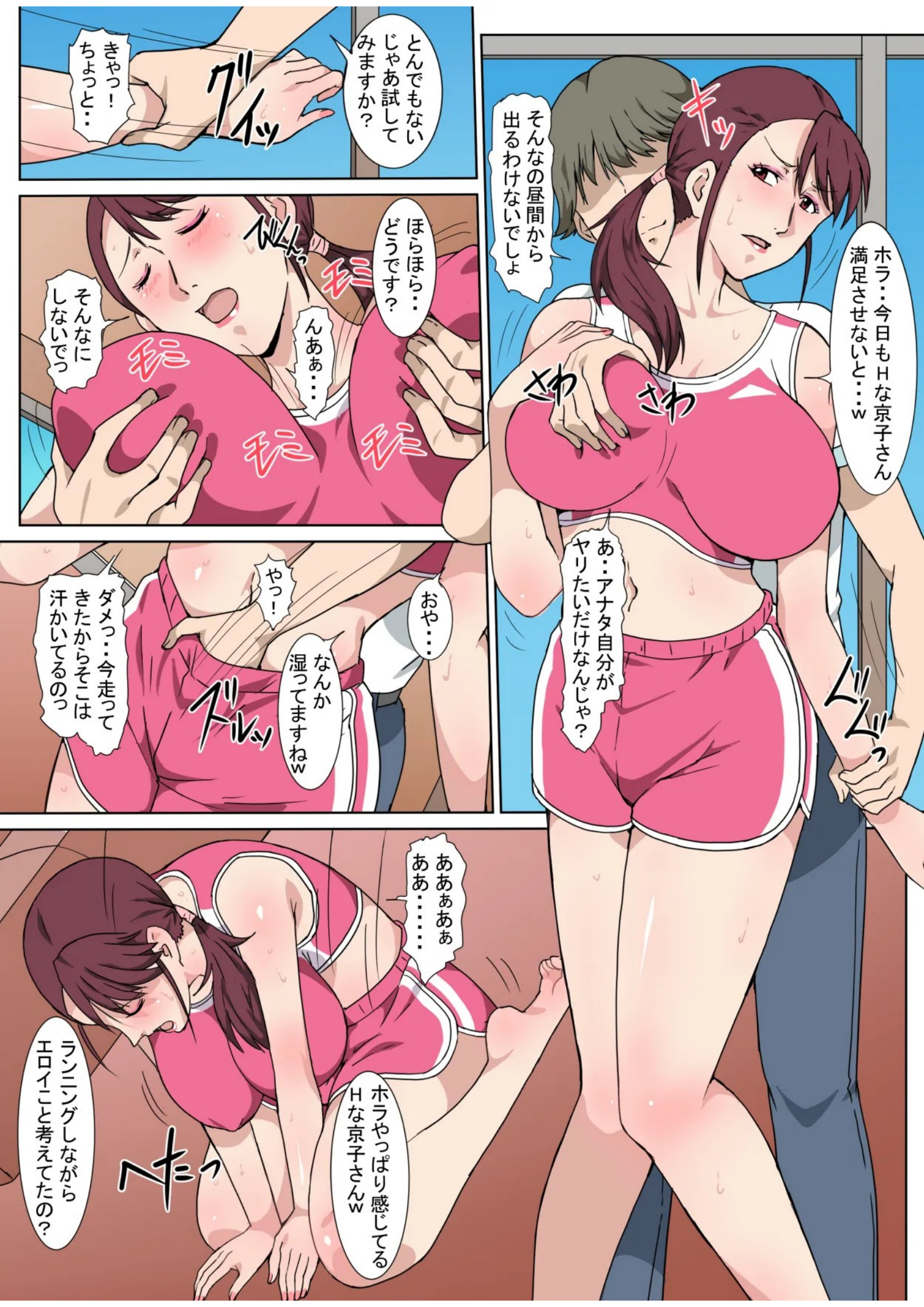

違っ！
そこだめえぇえええぇえええっ
さすがHな
京子さん


天井ぐりぐりが
いいんだw
ブバッ
ビュルルッ


おら
早く
言ってよね
おらっ
あぁあぁあぁ・・
あぁあはあぁっ
ズコ
ズコ
ズコ
ズコ

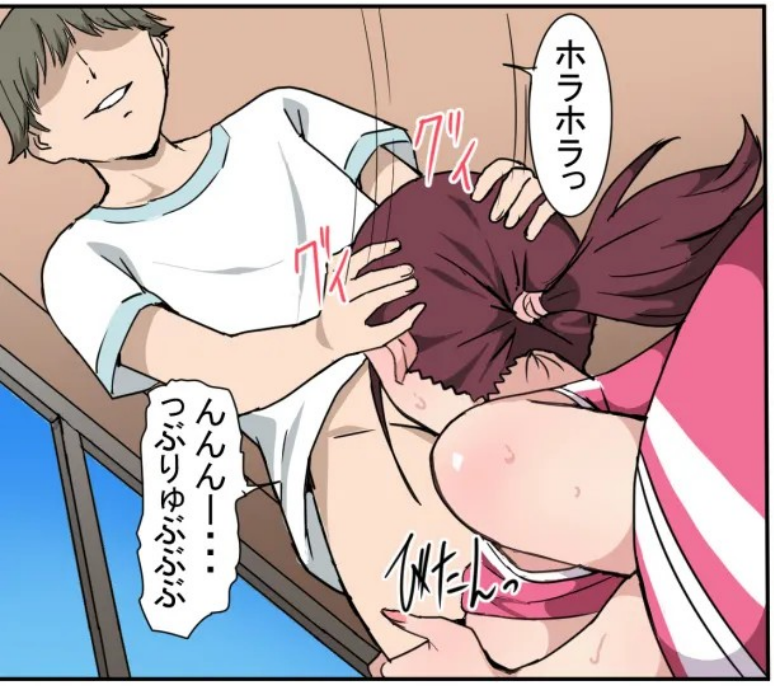

あふあああぁあああぁあっ
ダメよおおっ
おかしくなるうぅ！
ビクビクッ
いいですよ・・おかしくなって
今はHな京子なんだから！
あはぁあああっ
だめえぇえんっ
いくうううっ
ビクビクッ
イっちゃううぅ
うぅうう！
ズン
ズン
ズン
ズン


んあああぁあああぁ
あぁぁぁあああっ
はあ
はあ
はあ
ビュププブピュルル
—次の日
もう行って来ちゃったの？
えっ・・ええ
あれ・・・京子さん？
もぎゅっ
なんだ・・ジョギング行くなら俺も誘ってくれればいいのに
・・・・・・
ドキッ
きゃっ
ビクッ


ホラ・今日もHな京子さん満足させないと・・・w
キッ
そんなの昼間から出るわけないでしょ
さわ
さわ
ムニュッ
あ・アナタ自分がヤリたいだけなんじゃ？
とんでもないじゃあ試してみますか？
グイッ
きゃっ！ちょっと・・
ほらほら・・どうです？
んんっ
モミ
モミ
モミ
んあぁ・・・
そんなにしないでっ
おや・・・
やっ！
なんか湿ってますねw
ズルッ
ダメっ・・今走ってきたからそこは汗かいてるのっ
あぁぁぁぁぁ・・・・
ホラやっぱり感じてるHな京子さんw
ヘたっ
ランニングしながらエロイこと考えてたの？


そうそう・・・フェラとかちゃんと知ってんだね
んんんん・・・


だったらホラ・・・これ
!
好きにしていいよw


ホラホラっ
んんんー・・・つぶりゅぶぶぶ

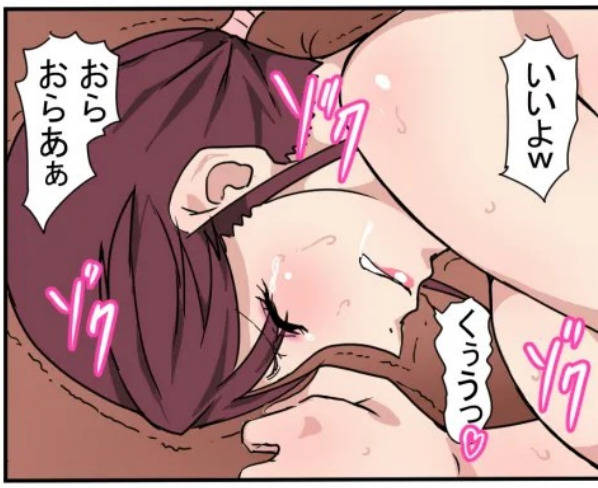

Hなおばさんの口めちゃくちゃ気持ちいいよ
ど・・どうしたのかしらわたし・・・こんなこと
んぶぶぶっ
もっといやらしくしごいてよ


だいぶ素直になって来たねwもっとHになっていいよ
あうあぁぁんぶぶぶぶ
びぶぶぶぶっ


こ・・こう？
そうそうw
スゲーエロイ顔
してるよおばさん
んあぁ・・ぶびゅる
いぶぶぶっ
よしよし
いいね
こんどはその
はしたない胸
使ってよ
こ・・こんなコト
Hな京子のせいだわ
あぁぁあぁっ
・・・・・
んびぶぶぷっ
じゅびゅるぶぶぶっ
だめ・・夢中に
なっちゃう・・・
あむっあぁぁ
すごくHな
ことがしたいわ
それっ
んあぁ
吸い付いてるとこ
悪いけど挿れたく
なっちゃったw
ひゃっ


もっと気持ちよくなりたいでしょ？
ああぁぁああぁぁああんっ
汗と汗でヌルヌルおマンコ最高だよおばさん！
うはぁぁあんっそれすごいいいんっ
ああぁあっ・・堪らないいもっと・・もっとシてえぇ
いいの？おばさんHなこともw
いいわ・今はHな京子だから・何してもいいのよっだから早くぅ
オッケーwじゃあ無茶苦茶するねw
あぁぁあ
スゲーきゅんきゅんに絞めつけてそんなにいいんだ
あぁあっいいわ・Hな京子にいっぱいお仕置きしてえぇえ！
あふあぁぁぁあっぐりぐりしてえぇえん

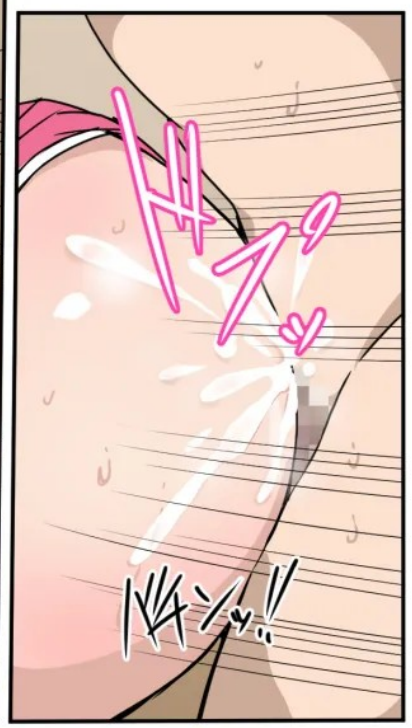

ああぁああっ
そんなぐりぐりいい
膣内がこすれてぇえ
えぇえぇえええんぅ
おばさんの本気
マンコも吸い付き
半端ないよっ
もっと・・・もっとよ
もっと頂戴アナタの
ちんぽおおっ
ズン
ズン
ズン
はあ♡


いいよw
おら
おらあぁ
くぅうっ♡
ゾク


尻上げなっ
おばさんもちんぽとか
言っちゃうんだねw
きゃふぅぅんっ♡
グイッ


只のセックス大好きな
京子になっちゃったね
おばさんっ！
いいのっ・・これ
気持ち良すぎて
えええっ
ああぁああっ
いいわっ♡
京子を躾けてえぇ
もっとエッチしたいの
おおぉおおっ♡
いつでも発情できる
ように身体で覚えなよ
よしイクぞっ
受け止めな！
パン
ガク
ちゃぷんっ
たぷんっ


ああぁあああ
ぁあああんっ
熱いの出てるぅう
ううぅう！
うおっ！
締め付けすげっ
ブルブルブルブル
ガク
ガク
ガク

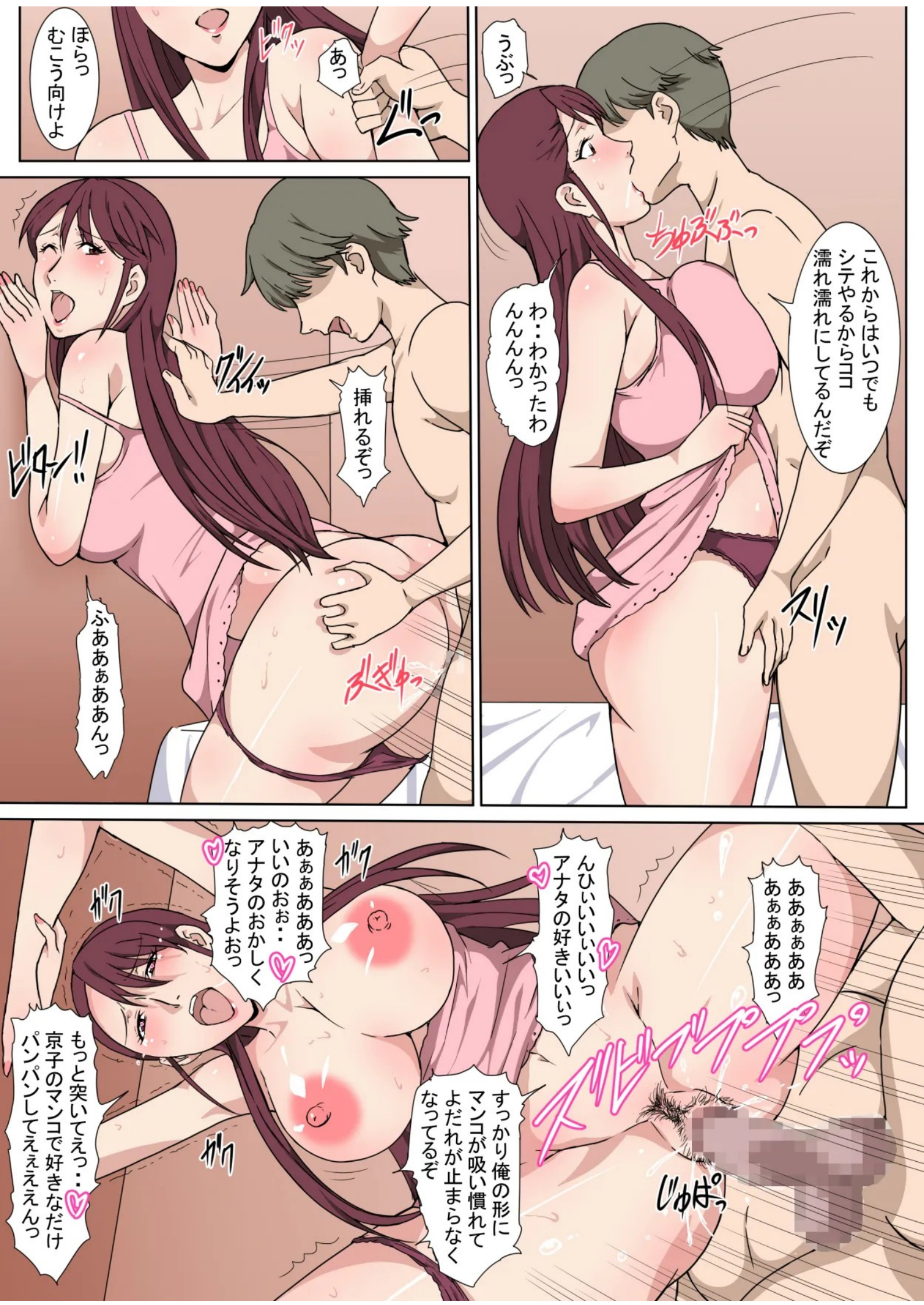

ドクッ
ドクン!!


―夜

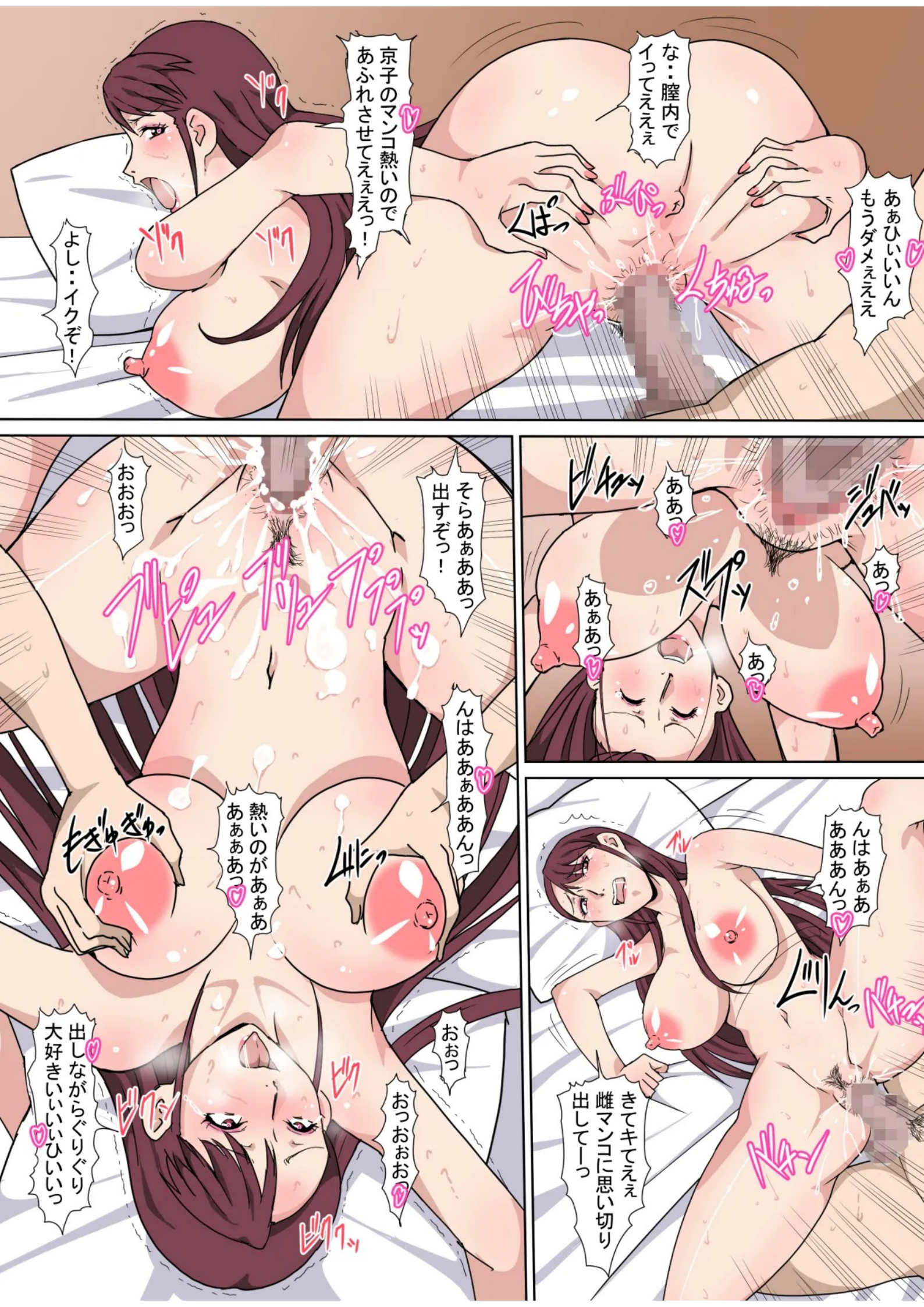

Hな京子さん
定着完了w
くくく
ビク
ビク


はあ
はあ
はあ
ガクッ
ぶる
ぶる
ぶる


こ・・これでいいの？
そうそう・・明日は
叔父さん帰ってくるから
・・・・・・
今夜思い切り
しとかないとw
そ・・そうね


うぶっ
これからはいつでもシテやるからココ濡れ濡れにしてるんだぞ
ちゅぶぶっ
わ・わかったわんんんんっ
スリッ
あっ
ほらっむこう向けよ
ビクッ
ズっ
挿れるぞっ
グイイッ
ビクン!!
ふあぁぁあんっ
ズさぬっ
ああぁぁああああっ
んひぃいいいいっアナタの好きいいっ
スリッププッ
じゅぽっ
あぁぁあああっいいのおぉ・アナタのおかしくなりそうよおっ
ガク
ガク
ガク
もっと突いてえっ・京子のマンコで好きなだけパンパンしてえぇえぇんっ
すっかり俺の形にマンコが吸い慣れてよだれが止まらなくなってるぞ

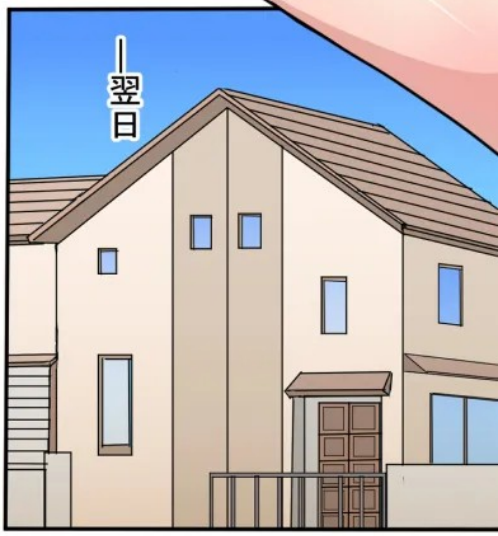

ああぁ・抜いちゃいやぁぁあん
すっかりチンポ中毒になっちまってw
あうっ
今挿れてやるから！
膣内ドロドロじゃねーかw
あくぁぁぁあああぁぁぁあっ
奥すごいのおおぉっゴリゴリにこすってえぇえぇえぇえん
今まで我慢してたのがウソみたいだな・・・
もっと自分で犯していいぞ
発情おばさんw
んあっ
んあぁぁぁあっ
んふあぁぁぁあっ
おっ
おおおおおっ
おふおおぉ


な・膣内でイってええぇ
京子のマンコ熱いのであふれさせてええぇっ！
よし・イクぞ！
あぁひいいいんもうダメぇえええ
あっ
あぁっ
あっ
あぁあっ
あっ
そらあぁあああっ出すぞっ！
おおおっ
んはあああああんっ
熱いのがあぁああぁあっ
おおっ
おっおぉおっ
出しながらぐりぐり大好きいいいひいいっ
んはあぁあああんっ
きてキてえぇ雌マンコに思い切り出してーっ


ふうぅうあぁ
あぁあぁぁあぁ…
…堪らないわあぁ
あぁぁあぁ…
ガク
ガク
ガク
サッ…
ドプッ
ビン
ビュブブブッ


ええ…
分かったわ
でも信一クンが
いるから安心だね
ニコッ


行ってらっ
しゃいアナタ
ああ…
今度も一か月ほど
留守にするよ


―翌日


こうしてまたおばさんと
一か月やりまくりの日々が
始まるのだった…
ムラっ
ムチュウウウ
ガチャッ
-END-


おばさんのことは
任せてください
よろしく頼むよ
じゃあ…
コッ
さわっ



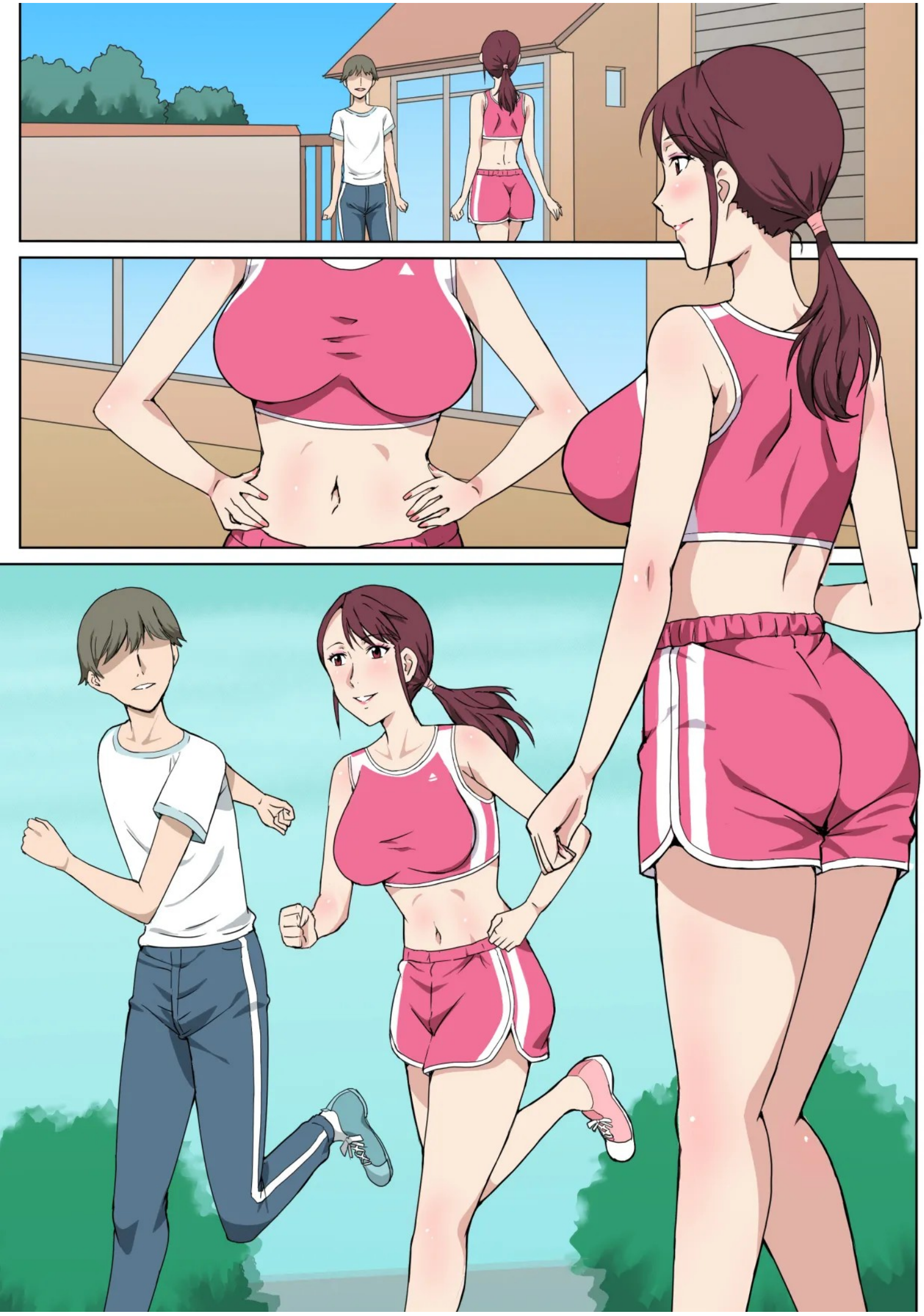




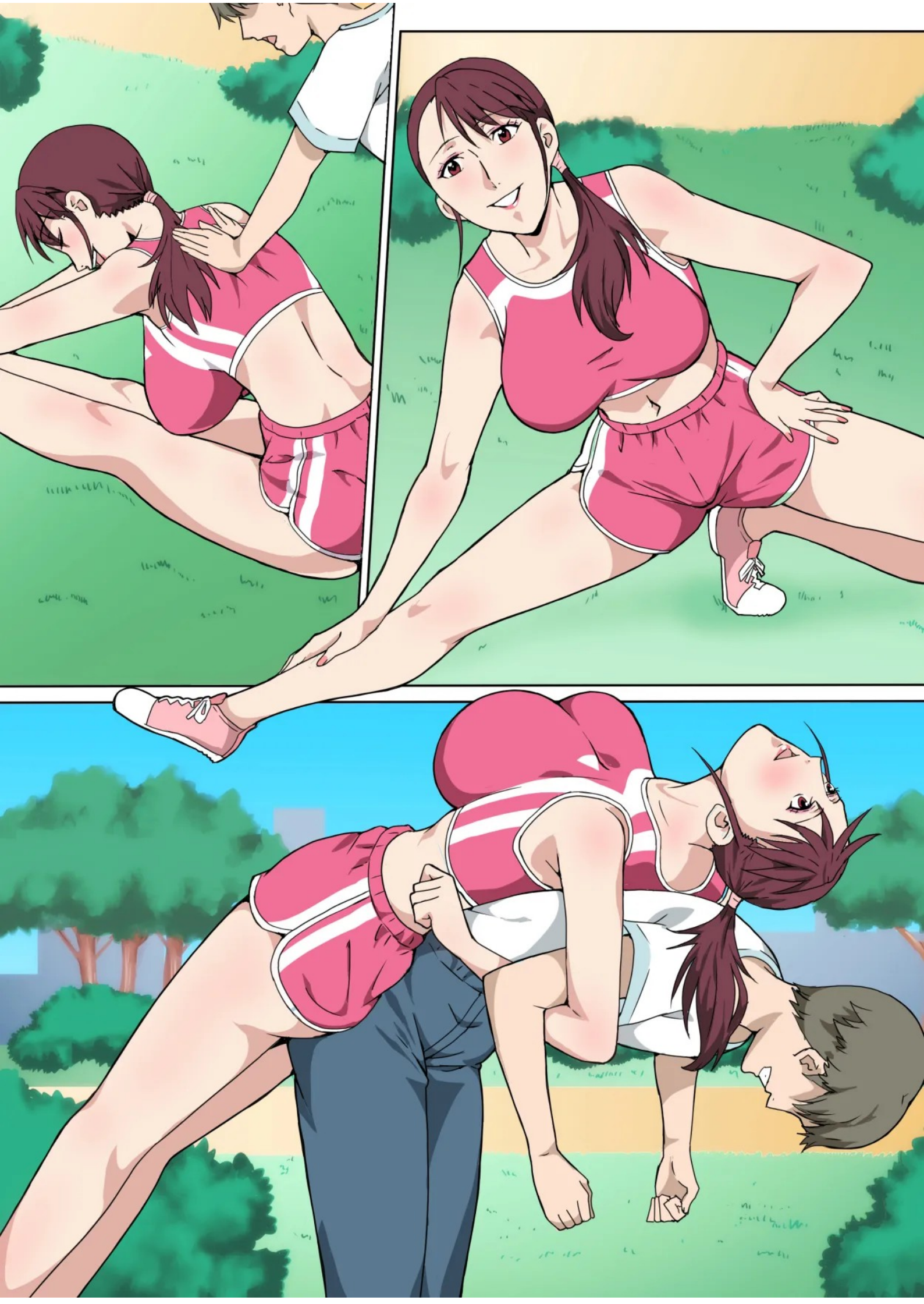


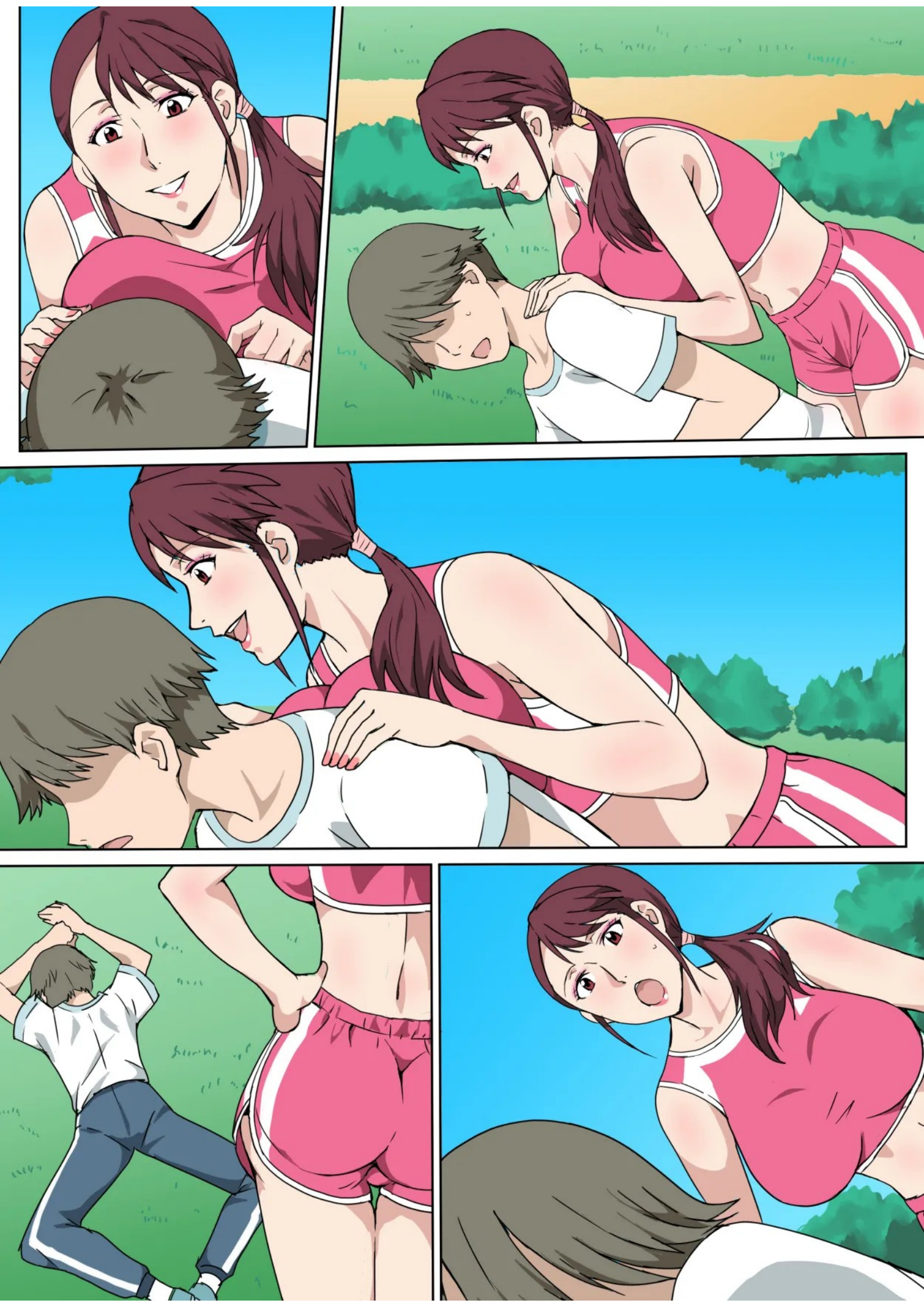




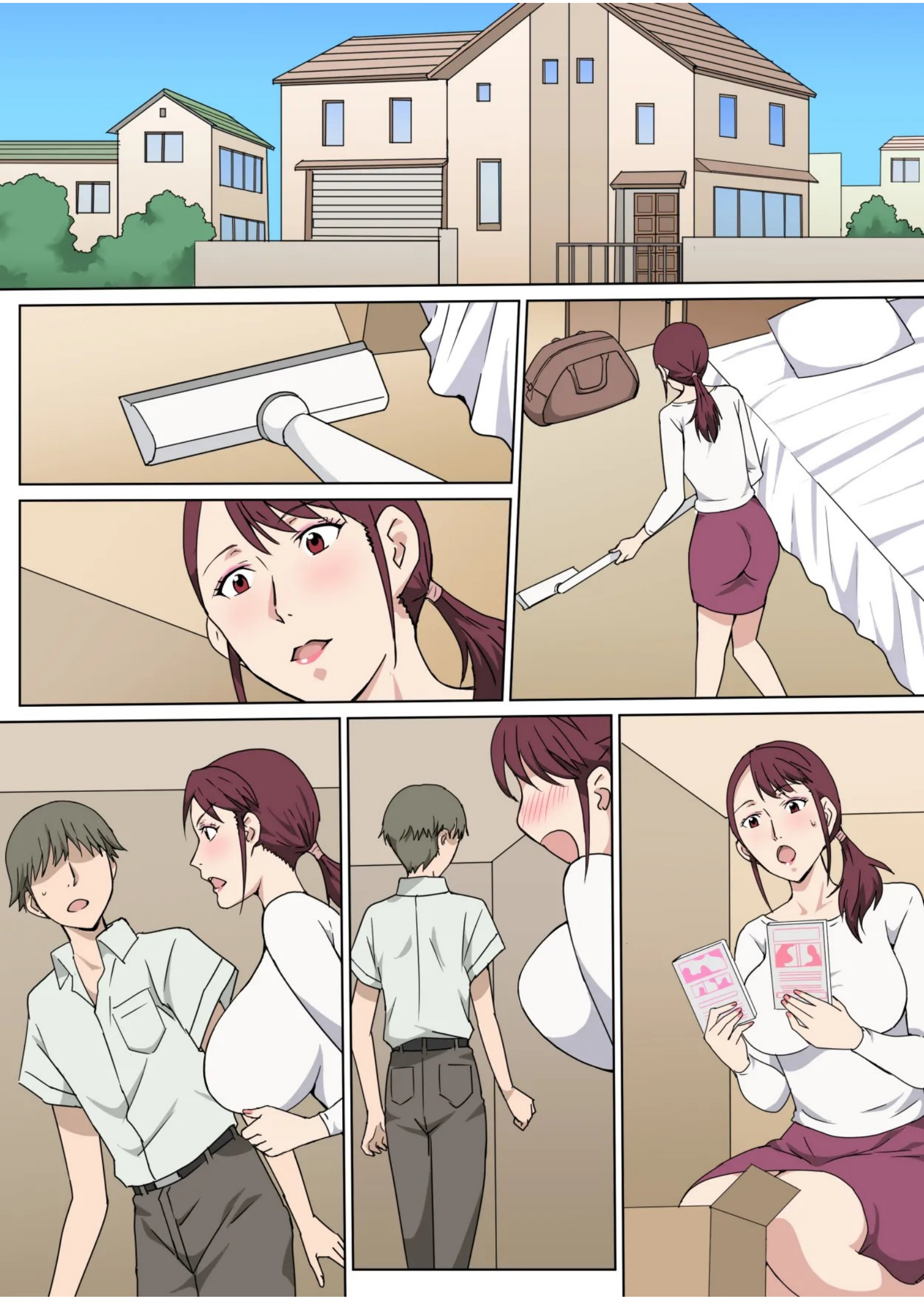








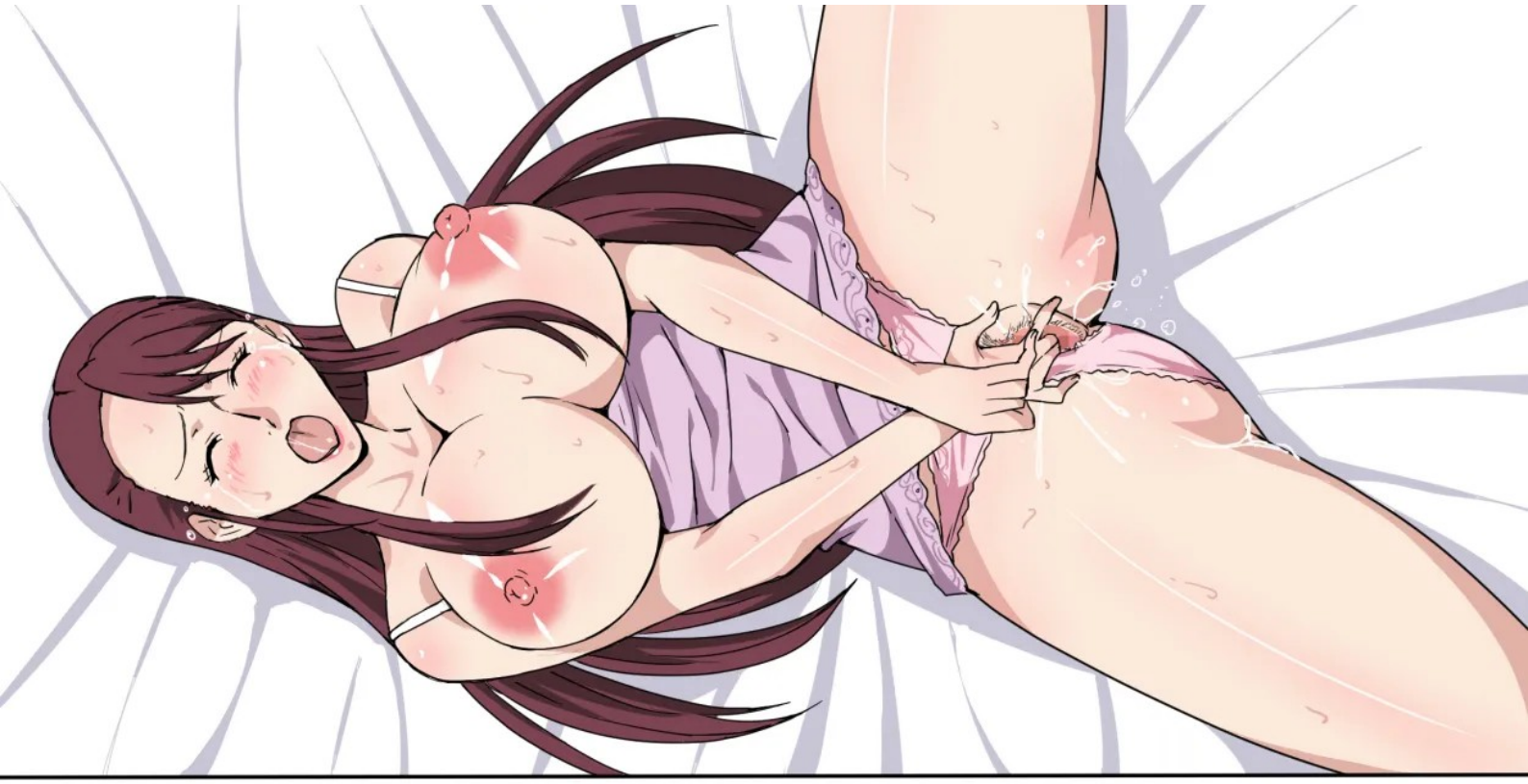


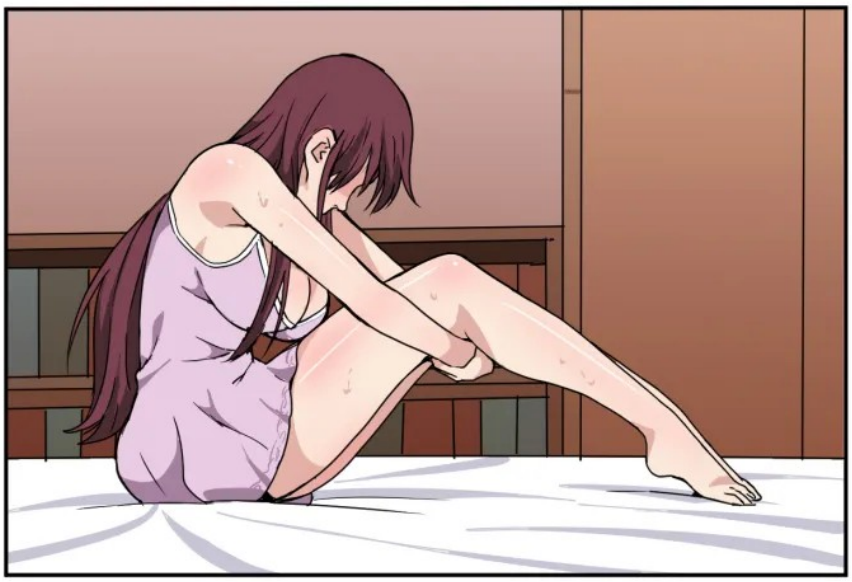






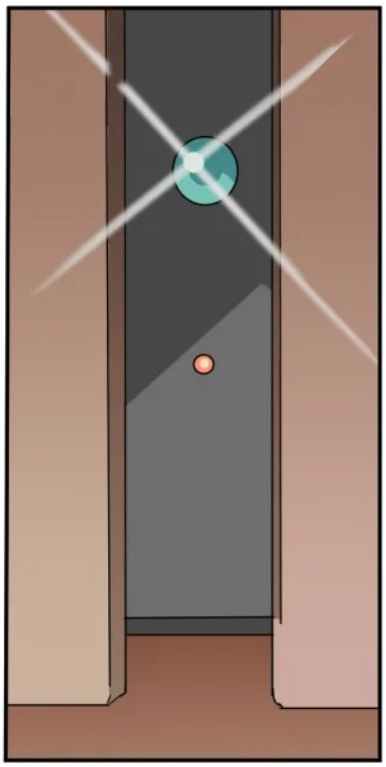








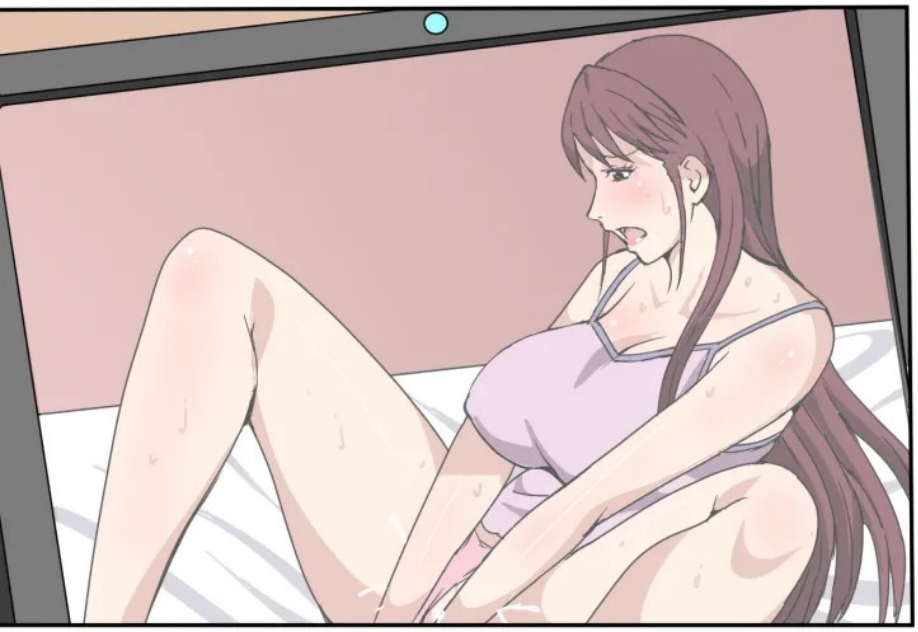








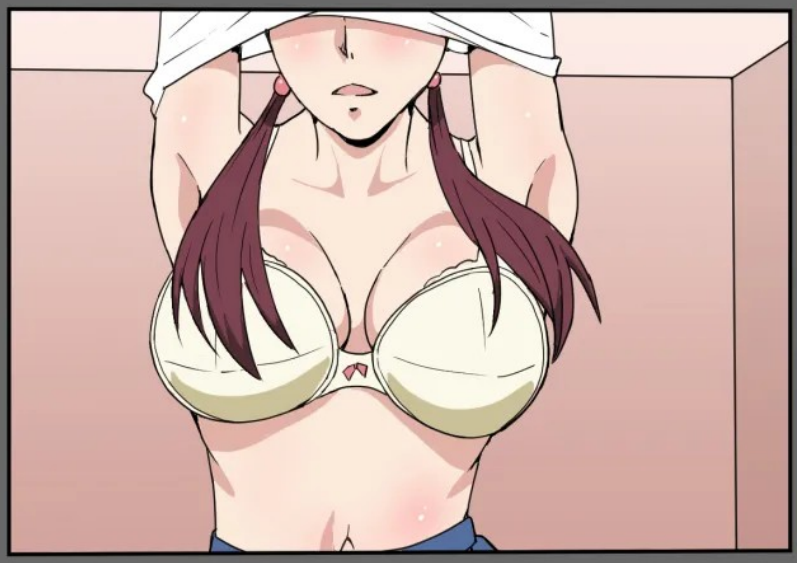
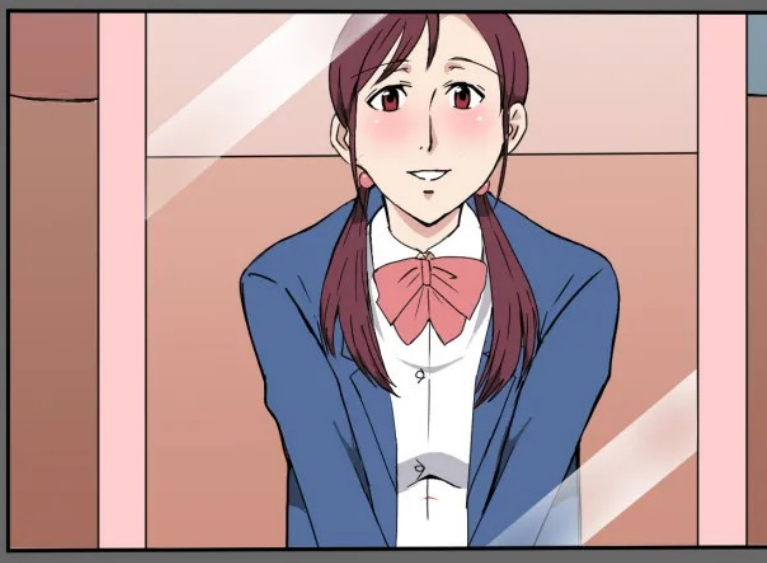
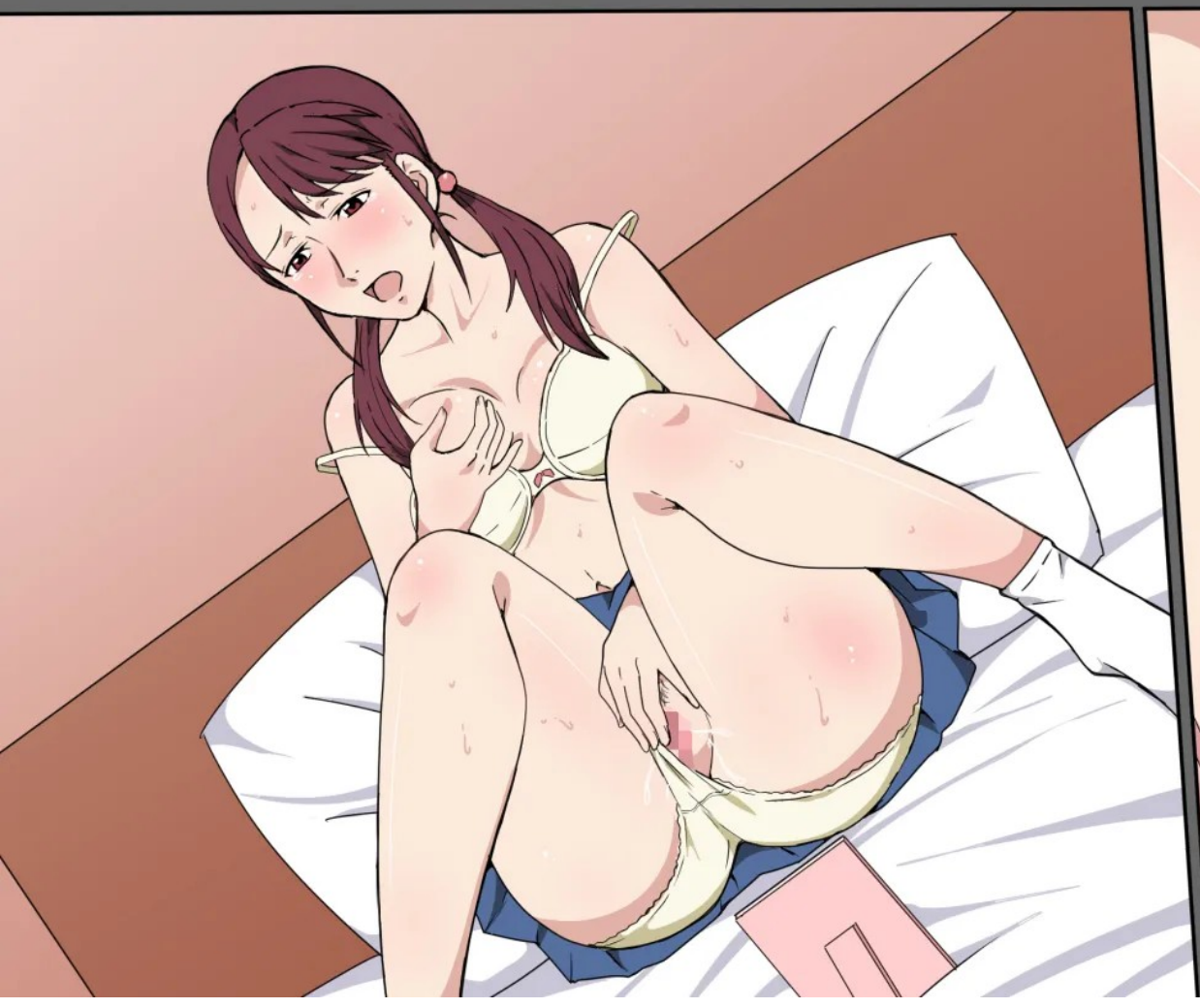








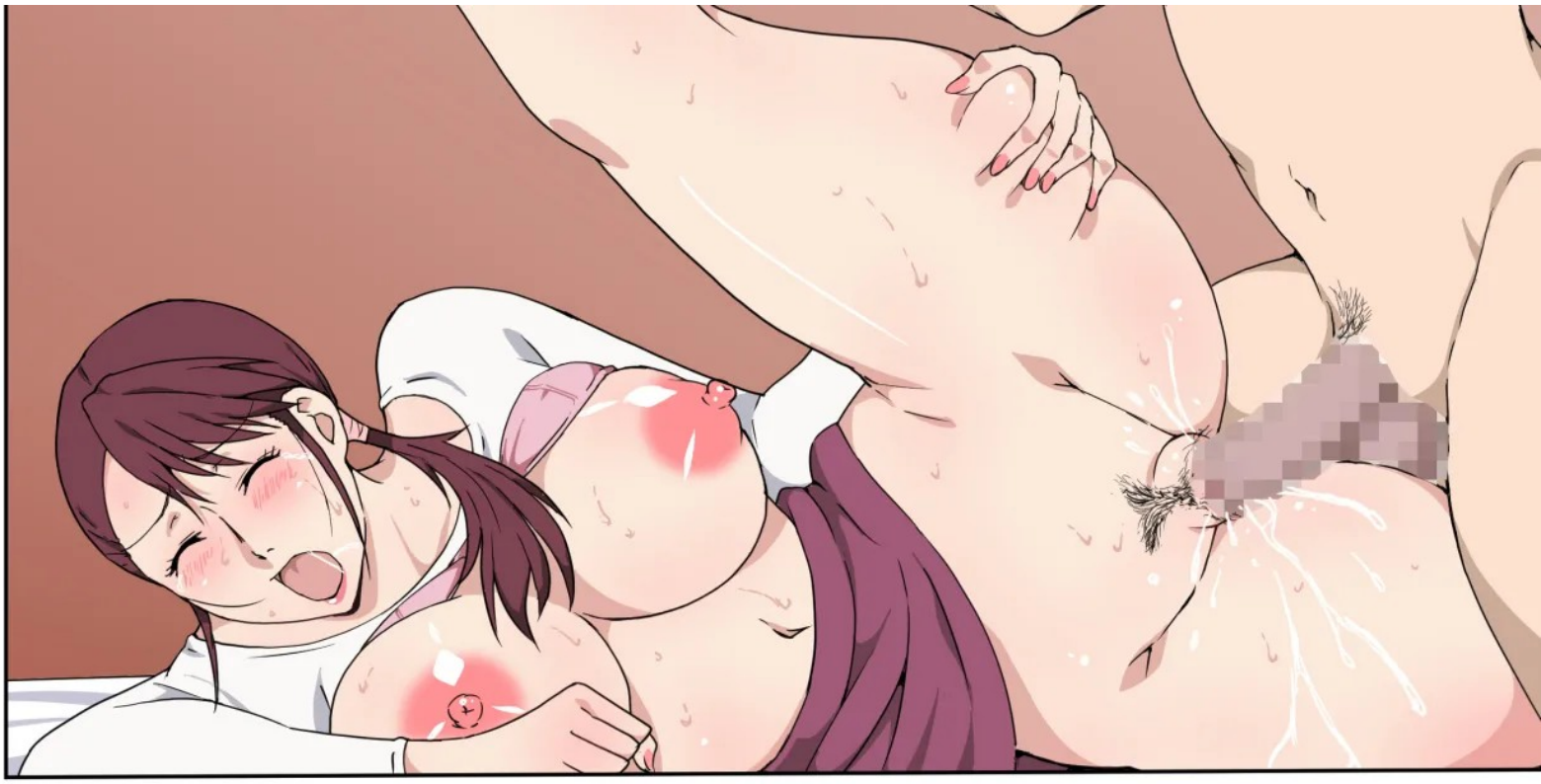


































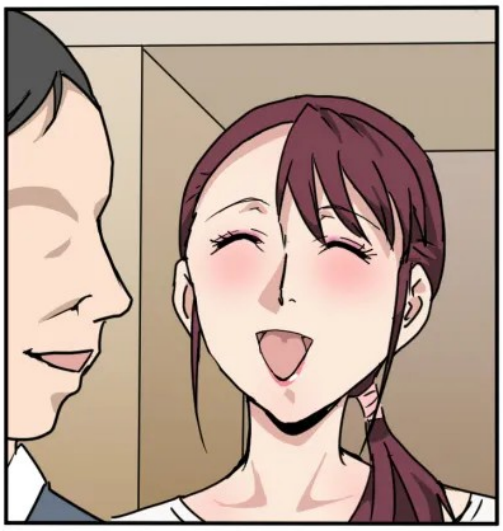








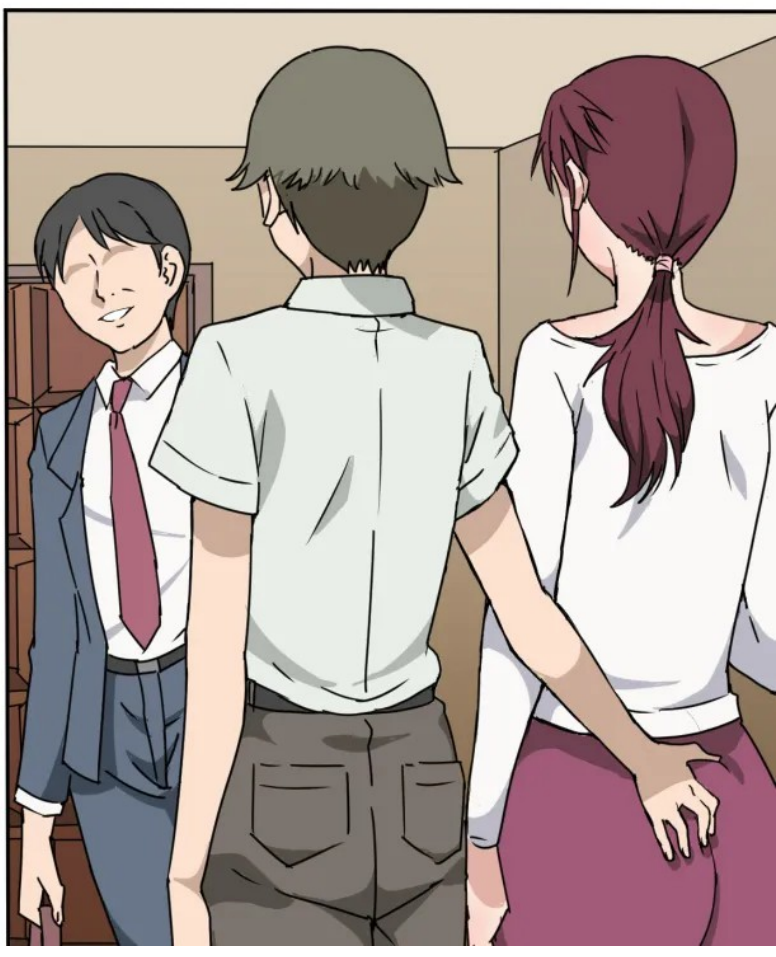












-FOR ADULT ONLY-

「真面目で明るいおばさんをセックスで
言いなりにした話」
2023年12月23日発行
Paiれっしゅ著

-ご注意-
この物語はフィクションです。
実在の人物・団体・事件等とは一切関係がありません。
＊
本作品及びそのコピーを著者に無断で
インターネット等に掲載することを禁止します。
またいかなる形態においても、無断販売を禁止します。